



今月の題字
ひょうが
佐々木 彪 河 君
(豊間根小4年)

町のあたい

健やかな成長を祈って 華やかな衣装で七五三参り

10月19日、山田八幡宮では子供たちの健やかな成長を願い七五三のお参りに訪れる親子の姿が見られました。この日訪れたのは野崎勇輝君(山田北小2年)とみずきちゃん(5歳)の兄弟。華やかな衣装に身を包んだ2人は慣れない厳かな雰囲気の中、緊張した面持ちでおはらいを受けていました。式終了後には、宮司から「しっかりとお参りが出来たご褒美です」と千歳あめやお守りなどが入った袋が一人一人に手渡されました。



町民体育祭に1200人 豊間根地区が4年連続優勝

10月5日、町民体育祭が町民グラウンドを会場に開かれました。37回目となる今年は11地区1,200人が来場。すがすがしい秋晴れの空の下、参加者は優勝目指して各種競技や応援に熱戦を繰り広げました。結果、各競技で上位につけ、着実に得点を重ねた豊間根地区が4年連続での優勝を飾りました。準優勝は船越地区、3位は轟木地区でした。また、地区対抗の応援合戦では、見事な踊りを披露した山田中地区が応援賞を受賞しました。

佐々木祥大君が町に寄付 困っている人に役立てて

山田南小4年の佐々木祥大君が町に寄付金を贈りました。これは、9月28日に陸中海岸青少年の家で行われたフリーマーケットに佐々木君が参加し、その売上金1,890円を町に贈ることにしたものです。佐々木君は10月1日に役場を訪れ、沼崎喜一町長に「病気の人や困っている人のために役立ててください」と寄付金を手渡しました。これに対し沼崎町長は「町の福祉のため、大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。



町民駅伝大会に506人 力走する選手らに熱い声援

10月12日、町民駅伝大会が船越公園南側駐車場をスタート・ゴールとし、町道海蔵寺線を折り返す2.1kmのコースで行われました。参加した94チーム506人の選手は、秋晴れの空の下、沿道に詰め掛けた父母らの声援を受けながら自慢の健脚を競い合いました。各部門の優勝者は次のとおりです。なお、小学生の部で優勝したチームは、11月2日に奥州市で開かれる「スポニチ奥州前沢マラソン」に派遣されます(男子は上位入賞チームの都合により、第3位の荒川ジュニア5上寺が出場します)。
▷高校生以上一般男子の部…空白山田A 中学生男子の部…山田中陸上部A 同女子…山田中陸上部B 小学生男子の部…大沢パワフルズ 同女子…豊小D



ニホンミツバチ同好会で採蜜作業 琥珀色に輝くハチの巣を収穫

10月20日、山田町ニホンミツバチ同好会(沼崎政光会長・会員15人)による採蜜作業が公開されました。同会は野生のニホンミツバチの保護や育成、はちみつのになる樹木の植林活動を行っている団体で、発足して2年目を迎えます。作業は会員の佐々木源衛さん(中央町・81)所有の倉庫で行われ、平塚六郎さん(大沢・69)がはちみつで琥珀色に輝くハチの巣8枚を巣箱の中から取り出していました。同会によると、このミツバチは慣れれば素手で扱えるほどおとなしい性格で、これまで群れを19群捕獲し育成にあたりましたが、スズメバチの襲撃などにより収穫に至ったのは全体の1割程度。来年はさらに収穫量を増やしていきたいと話していました。

中高連携推進事業シンポジウム 生徒らが職業観を語り合う

9月25日、山田町中高連携教育推進事業として講演会とシンポジウムが開かれました。会場となった山田高校には、同高生徒や山田中3年生、豊間根中2年生と3年生、保護者など450人が参加。岩手県立大の相澤徹理事長の基調講演に続き、本町出身の大学生岩間健太さん(岩手県立大2年)、山崎立子さん(岩手大2年)、箱石大輔さん(釧路公立大2年)と生徒代表として佐々木勇太君、金澤あすかさん(ともに山田高3年)、佐々木ひとみさん(山田中3年)、勝山和弥君(豊間根中3年)が壇上に上がり、「職業観と地域社会を考える」をテーマに意見を述べ合いました。このうち岩間健太さんは「いろんなことに挑戦して本当にやりたいことを見つけてほしい」と呼び掛け、佐々木ひとみさんは「目的に向かって一生懸命挑戦していきたい」と感想を述べていました。



パネルディスカッションの様子(上写真) / 岩手県立大の相澤徹理事長による講演が行われました

